

提出日：平成 29 年 4 月 29 日

平成 28 年度 大阪大学蛋白質研究所 拠点事業

(2) 研究成果の概要

課題名	CD28 ファミリー分子細胞内領域と PI3K SH2 ドメインとの分子間相互作用解析	
研究代表者	氏名	織田 昌幸
	所属機関名・部局名	京都府立大学・大学院生命環境科学研究科
	職名	准教授
事業名 (該当の事業名の右欄に○)		共同研究員
	○	超高磁場NMR 共同利用研究課題
		クライオ電子顕微鏡共同利用研究課題
		客員フェロー
蛋白研受入担当教員名	藤原 敏道	
<p>T 細胞の補助刺激受容体 CD28 の細胞内領域と、さらに下流にシグナルを伝達する SH2 との分子間相互作用に着目して本研究を行った。今年度は Phosphoinositide 3-kinase の調節サブユニットにある 2 つの SH2 のうち、N 端側の nSH2 の ^{15}N-ラベル化試料の調製と $^{15}\text{N}/^1\text{H}$ 二次元 HSQC 測定、さらに nSH2 結合部位を含む 12 残基からなる CD28 ペプチドの滴定 HSQC 測定を行った。その結果、nSH2 単独時の HSQC スペクトル上で、比較的良好なシグナルを観測し、さらに CD28 ペプチドを対 nSH2 モル比で、0.2、0.5、1.0、2.0 当量となるよう加え、各 HSQC スペクトル上で、個々のシグナル変化を観測した。</p>		

※本様式は、“拠点事業成果報告”として、拠点ホームページにて公開させていただく予定です。

※必ず A4 用紙 1 枚におさめて下さい。 ※提出期限：平成 29 年 5 月 19 日（金） ※提出の際は PDF 変換して下さい。

※提出先：大阪大学蛋白質研究所拠点プロジェクト班 E-mail: tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp